

NO OSPREY



厚木基地にオスプレイはいらない集会

in 大和

11月23日(日) 13:30/大和駅駅前広場(小雨決行)



集会後、厚木基地に向かってデモ行進をおこないます



昨年集会とデモ行進＝2024年7月21日

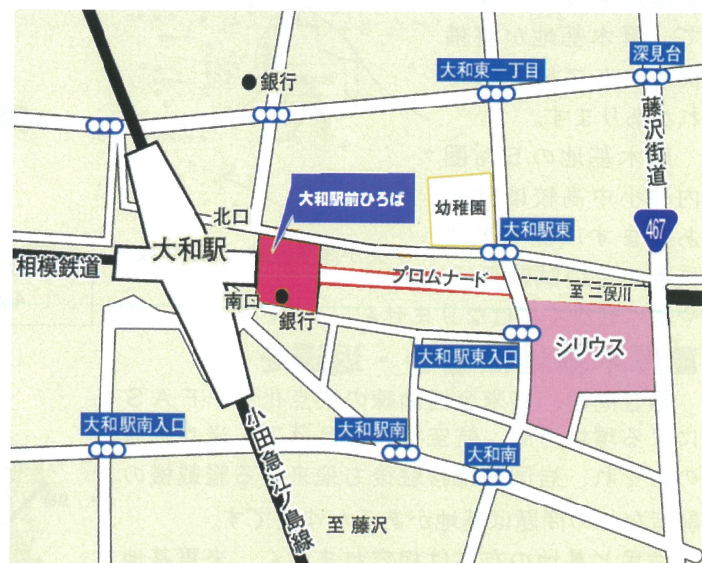
住宅地上空を試験飛行するオスプレイ＝右上、2月25日（第5次厚木基地爆音訴訟団撮影）

オスプレイNO!の県民的運動広げよう

2023年11月、屋久島沖で米軍C V22 オスプレイが乗員8人全員死亡という重大事故を起こしました。

原因が特定されないまま飛行が再開したことに對し全県から500人が参加した昨年7月の抗議集会に続き、今年も大和駅前で集会を開催します。

オスプレイの整備拠点となっている厚木基地から、全国で広がっているオスプレイ配備反対のたたかいと連帯し、集会を成功させましょう。



主催 11.23厚木基地にオスプレイはいらない集会in大和集会実行委員会

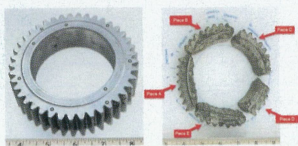
連絡先: 安保破棄・諸要求実現神奈川県統一促進会議 TEL045-201-3684 大和市平和委員会(佐野) TEL090-1429-7766

墜落再発の危険冒かして飛ぶオスプレイ

■事故調査報告書に根本的対策なし

昨年8月2日、米空軍事故調査委員会から屋久島沖で乗員8人全員が死亡したオスプレイ墜落事故についての事故調査報告書が公表されました。

報告書では、プロペラに動力を伝えるギアボックスの破断と、軍務を優先し、不具合に対する乗員のリスク管理が不十分だったことが事故原因としています。そして、ギア部品の故障の根本原因は特定できなかった、としているのです。



改良したギアボックスに交換するということですが、原因を特定できずにおこなう改良が信頼できるでしょうか。そしてその交換も2026年以降になってしまう見通しであり、現在も墜落事故再発の危険を冒してオスプレイは飛び交っているのです。

■リスク管理欠如は米軍と日本政府

報告書はリスク管理では機長の判断ミスが主な原因としています。しかし、米空軍の司令官は「まれな事故だっ

た」との認識を示しています。報告書公表後、AP通信は、ギアボックスの故障は過去5年に60件報告されていた、と報じているように決してまれな事故ではありません。

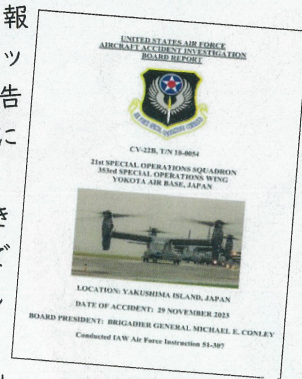
8月の国会でも、政府は「引き続き、安全な運用を行うことができると考えている。米側に対し『ギア破損の根本原因の解明』に向けた措置を求める考えはない」と答弁しています。

リスク管理が欠如しているのは、安全性無視の米軍と、米軍の説明を鵜呑みにする日本政府ではないでしょうか。

■日本の空にオスプレイはいらない

米本土では30分以内に着陸できるという飛行制限を設けていますが、日本では日米地位協定によって米軍基地間の移動に制限はありません。

解決できない欠陥を抱えたオスプレイは日本から撤去する以外にありません。



事故調査報告書

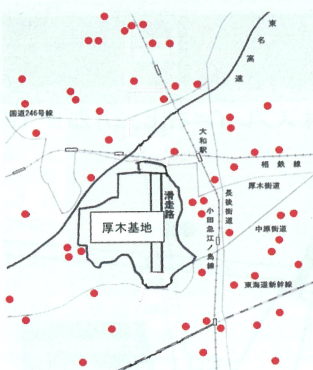
厚木基地はいらない

■住民危険にさらす整備・試験飛行

オスプレイの整備拠点になっている厚木基地に隣接する日本飛行機では、3機が整備・試験飛行を終え帰投、2機が整備中です。

今後、オスプレイを運用する2050年まで、厚木基地が整備拠点として続くおそれがあります。

厚木基地の5キロ圏内の小中高校は50校あります。住宅地や校舎の上の試験飛行はやめさせなくてはなりません。



中央が厚木基地 ●が学校

■厚木基地は縮小・返還を

騒音問題、日米合同訓練の拠点化、PFASによる環境汚染、航空機の部品落下、米兵犯罪のおそれ、岩国基地移駐後も飛来する艦載機の騒音などの問題は基地があるがゆえです。

住民と基地の存在は相容れません。米軍基地は縮小・返還、オスプレイは撤去せよの声を全国的、全国的に大きく広げましょう。

〈オスプレイの配備状況〉

オスプレイは日本から撤去を

